

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

平成26年度川崎市総合防災訓練の実施について

資料1 平成26年度川崎市総合防災訓練の実施について

資料2 高津区訓練各会場周辺地図

資料3 メイン会場訓練進行表

平成26年8月27日

総務局

平成 26 年度川崎市総合防災訓練の実施について

1 実施目的

- (1) 過去の地震の教訓や首都直下地震発生の切迫性を踏まえ、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、企業、市及び防災関係機関等が一体となった実践的な防災訓練を実施することにより、防災意識の高揚と地域防災力の強化を図る。
- (2) 九都県市合同防災訓練会場への広域応援（救援物資搬送）を相互に実施して、九都県市相互の連携を図る。
- (3) 職員の災害対応能力の向上を図る。

2 訓練想定

高津区メイン会場訓練は、発災対応型訓練とし、次の想定に基づいて実施する。
「川崎市直下を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生し、高津区では震度 6 強を観測した。市内全域で家屋の倒壊や道路の損壊などの被害が発生したほか、電気、ガス、水道、電話等のライフライン施設にも大きな被害が発生している。また、家屋の倒壊や火災により、多くの死傷者が発生している。このため、川崎市及び高津区では、川崎市災害対策本部、高津区本部をそれぞれ設置し、市民、企業、市及び防災関係機関等が連携し、災害応急対策活動を実施する。」

3 実施日時・場所等

(1) 災害応急対策訓練（メイン会場）

平成 26 年 8 月 30 日（土）9：00～12：00

多摩川緑地内「諏訪いこいの広場」及びその周辺（高津区諏訪 2 丁目）

<訓練項目> 負傷者応急救護、初期消火、情報収集伝達、災害ボランティアセンター設置運営、ライフライン応急復旧、水災害対応、災害時応急医療活動、道路啓開・緊急交通路確保、救出救助、給食、消火（一斉放水）、防災フェア

(2) 住民参加型避難所体験訓練（サブ会場）

平成 26 年 8 月 29 日（金）18：00～20：00

川崎市立橘中学校（高津区千年 1300）

<訓練項目> 避難者受付、シェイクアウト（一斉防災行動訓練）、暗闇体験⇒投光器取扱、傷病者の搬送・応急救護、災害用トイレ組立、クロスロードゲーム、避難所内居住スペース体験、炊き出し、緊急物資受入・配給、防災展示

(3) 多数遺体取扱訓練

平成 26 年 9 月 4 日（木）13：00～15：00

川崎市立高津高等学校（高津区久本 3-11-1）

<訓練項目> 多数遺体収容施設開設、受付、検視・検案、身元確認、遺族対応・引き渡し

4 訓練の特徴

- (1) 自主防災組織による今年度から市内の避難所に順次配置が予定されている「消火用ホースキット」を活用した初期消火訓練、及び「ジュニアハイスクール消防隊」による消防用ホースを活用した実践的な初期消火訓練
- (2) 川崎市災害医療コーディネーター新設に伴い、コーディネーターの調整等に基づく実践的な災害時応急医療活動訓練
- (3) サブ会場における、夜間・停電時での避難所開設を想定した地域住民参加型の体験訓練や災害時における判断の難しさを考えるクロスロードゲームの実施

5 訓練参加予定機関数・人数

- (1) 災害応急対策訓練（メイン会場）
54機関 約1000名
- (2) 住民参加型避難所体験訓練(サブ会場)
11機関 約400名
- (3) 多数遺体取扱訓練
7機関 約70名

【参考】

1 九都県市中央会場訓練

- (1) 九都県市幹事都県市（中央会場）
相模原市
- (2) 実施日時
9月1日（月） 午前10時～正午
- (3) 実施場所
在日米陸軍相模原総合補給廠（相模原市中央区内）

2 その他の訓練

- (1) 個別訓練
各局・区・室、各企業・事業所等、自主防災組織、市立小中学校、幼稚園等は、9月1日（月）「防災の日」又は「防災週間」（8月30日～9月5日）内の適切な日において実施する。
- (2) かながわシェイクアウトへの参加
9月1日（月）午前11時に県内全域において一斉に実施する。

【シェイクアウト（一斉防災行動訓練）とは】

事前登録した不特定多数の者が一斉にそれぞれの場所で、「①Drop（姿勢を低く）、②Cover（頭を守り）、③Hold on（動かない）」等の安全確保行動を行う訓練

高津区訓練各会場周辺地図

メイン会場



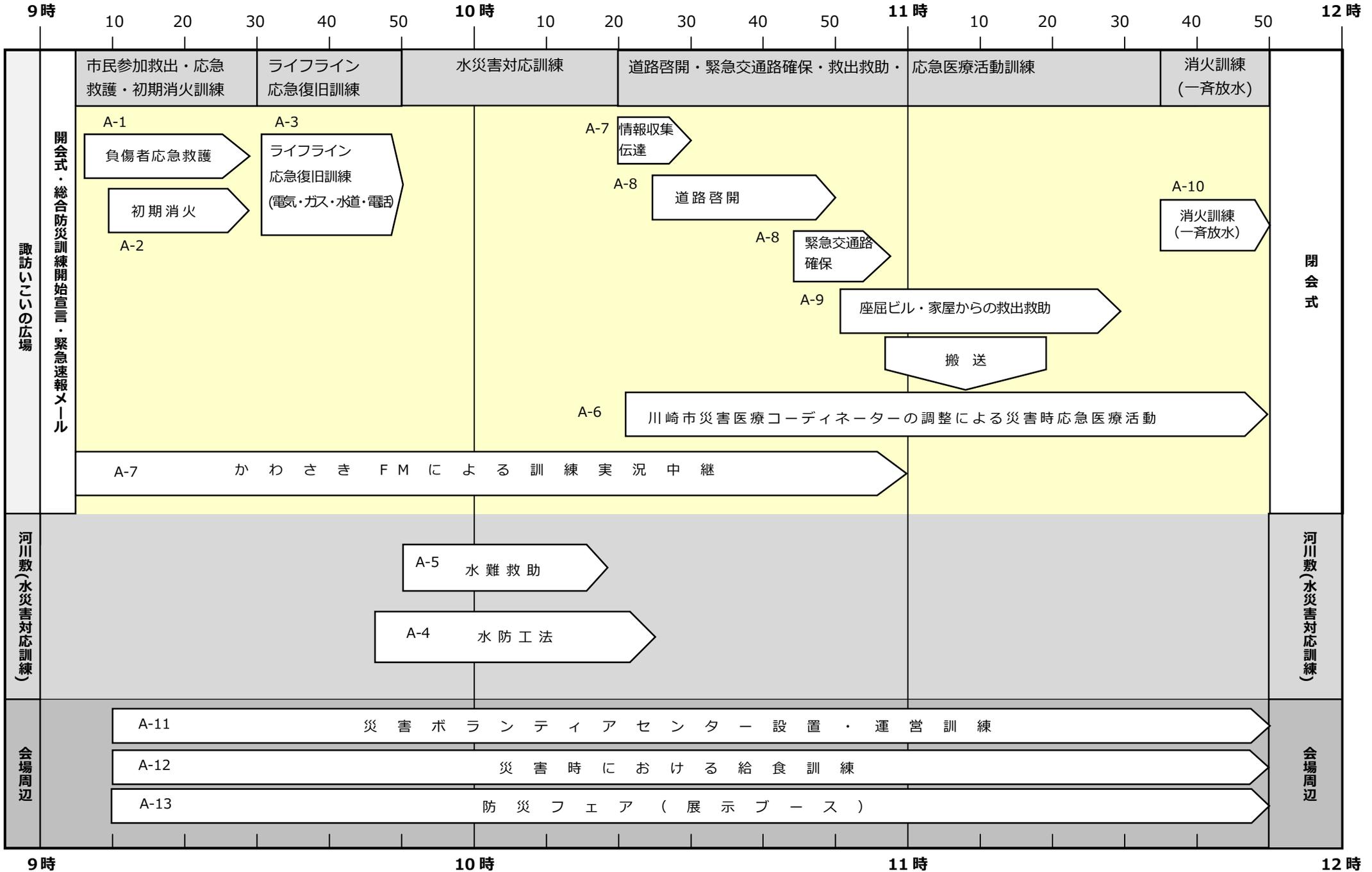
サブ会場



多数遺体訓練会場



メイン会場訓練進行表



9時

10時

11時

12時